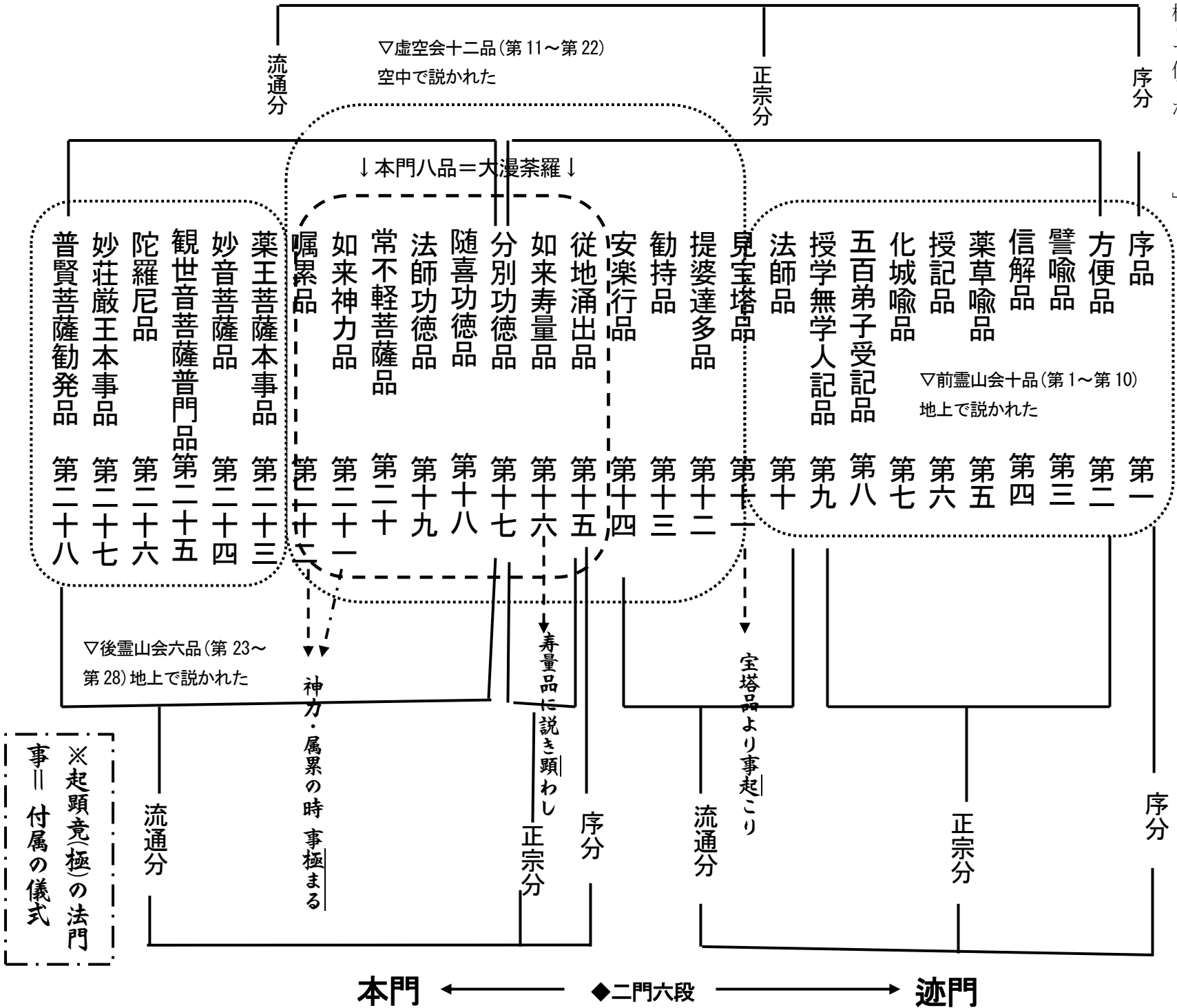


法華經の科文（經典を解釈するに際して説意にしたがい文章に段落を設けて説明する方法）

◇一經三段（序分、正宗、流通分）と◆二門（迹門と本門）六段、▽二処三會、

※起頭竟↓『新尼御前御返事』「今此の御本尊は教主釈尊五百塵点劫より心中におさめさせ給いて、世に出現させ給いても四十余年、其の後又法華經の中にも迹門はせずして、宝塔品より事をこりて寿量品に説き願し、神力品属累に事極りて候しが、・・・」



迹門 || 諸經の統一
本門 || 諸仏の統一

衆生成仏の平等性・二乗作仏
本仏救済の絶対性・久遠実成

衆生の成仏論
本仏の救済論

※起頭竟極の法門
事 || 付属の儀式